

平成31年度 北海道大学大学院
文学院修士課程入学試験（後期）

試験区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般入試 <input checked="" type="checkbox"/> 外国人留学生特別入試 <input type="checkbox"/> 社会人特別入試（後期のみ）
試験科目名	<input checked="" type="checkbox"/> 専門試験（心理学） <input type="checkbox"/> 共通外国語（ ）
出題の意図	心理学、心理学研究法、統計学の考え方、基本的な用語・概念、心理学の発展に貢献した人物についての知識を問うために「語句問題」を課す。また、それらを応用して人の行動や様々な現象について考える力、基礎的な実験を計画する力、特定の実験方法・データ分析を客観的に評価したり対案を出したりする力、統計学の基礎的知識を応用する力、さらには実際にデータを分析し結果を解釈する力などを問うために「文章問題」を課す。

平成31年度
北海道大学大学院文學院修士課程入学試験問題（後期）
（専門試験） 心理学 全2枚のうち1枚目

この試験では、試験問題 2枚、解答用紙 6枚を配付する。

解答用紙6枚は以下の通りに使用する。問1から問3については、それぞれ1枚ずつ解答用紙を用いること。問4は8つの用語・人名のうち5つを選択したうえで、1枚の解答用紙を用いること。残り2枚は下書き用とする。

次の問すべてについて解答しなさい。

問1 認知心理学の研究には、真実を追求する基礎的研究や学術的価値のある研究と、我々の生活に密着した応用的研究や商業的価値のある研究という2面性がある。それぞれの研究の重要性と相互の調和について論じなさい。

問2 卓越した認知能力と問題のある認知能力を併せ持った人がいる。例えば、優れた記憶力を示す一方で、他人とのコミュニケーションがうまくできない人がいる。このような事実から、人間の認知機構についてどのようなことが考えられるか述べなさい。

問3 A大学において学生別の男女数を調べたところ、文学部では男性120人、女性80人であり、理学部では男性240人、女性60人であった。A大学で文学部と理学部の間で男女比に違いがあるかを調べたい。この場合の帰無仮説と対立仮説を述べ、カイ2乗検定を用いて有意水準5%で検定しなさい。必要であれば、問題用紙2枚目の「カイ2乗分布表」を用いること。

問4 次の用語・人名を簡単に説明しなさい。ただし、下記8つのうち5つを選択して解答すること。（5つを超えて解答した場合、点数の上位から5つ分のみを最終成績の対象とする。）

- ① 拡散テンソル画像法 (diffusion tensor imaging)
- ② 対乳児発話 (infant-directed speech)
- ③ ジェンダー (gender)
- ④ 達成動機づけ (achievement motivation)
- ⑤ 心理テストの信頼性 (reliability of a psychological questionnaire)
- ⑥ ダブルブラインドテスト (double blind test)
- ⑦ E. L. ソーンダイク (Edward Lee Thorndike)
- ⑧ シャクターとシンガーの情動の2要因説

(Stanley Schachter and Jerome E. Singer's two-factor theory of emotion)

カイ2乗分布表

自由度	有意水準	
	0.05	0.01
1	3.84	6.63
2	5.99	9.21
3	7.81	11.34
4	9.49	13.28
5	11.07	15.09
6	12.59	16.81
7	14.07	18.48
8	15.51	20.09
9	16.92	21.67
10	18.31	23.21
11	19.68	24.72
12	21.03	26.22
13	22.36	27.69
14	23.68	29.14
15	25.00	30.58
16	26.30	32.00
17	27.59	33.41
18	28.87	34.81
19	30.14	36.19
20	31.41	37.57